

健康管理士一般指導員活動事例取材シート

健康管理士番号	H - 8261
お名前	中島 堅一
性別	男
年齢	71歳



<p>なぜ健康管理士一般指導員の資格を取得しようと思ったのですか？</p> <p>退職後の健康維持について、かねてより関心を持っていました。カイロプラクティックとの出会いがあり、施術活動を通じて社会貢献が出来るとの思いで始めましたが、医学的知識全般についても予防医学の面からも必要性を感じ受講することを決心し、資格を取得する事にしました。</p>
<p>健康管理士一般指導員受験対策講座(通信教育)から資格取得までの感想はいかがですか？</p> <p>もともと技術畑で仕事をしていたため、施術活動とその技術的理解は、あつたつもりでしたが、6冊のテキスト学習中も大変参考になりました。実際に認定試験に臨んで、テキストには出ていない事もあり、大変に難しい問題だと感じました。友人も「1回では通らないよ、何回かチャレンジしないと！」と言われ不安でしたが、私は幸いにして1回で合格できました。</p>
<p>健康管理士一般指導員の資格をどこで・どのように活用していますか？</p> <p>地元の老人会活動やいきいきサロンで「高齢者と健康生活」などをテーマに「ほすぴ」を活用しながら、ボランティアで講義をしています。町内会のクラブ活動にも、ニーズに応じて「健康管理をテーマに」講演(ボランティア)をしています。(9月には「敬老会」でもお話しました。)</p>
<p>その他「ほすぴ」や「セミナー」「能力開発講座」等の感想がありましたらお書きください。</p> <p>私は、毎日「健康生活」に関するブログを書いています。新聞の記事や世間の話題から、最新のものをピックアップし、自分なりに明日のための参考データとしてログをとっています。「ほすぴ」では、最近の話題を体系的に詳しく説明されているため、地域での講義や日常の施術活動(患者教育)において大変役立っています。</p>